

私の合格体験記

僕は3年生になると始めに3は受験生という感じがまったくなく、すうと夕うけにいました。しかし、冬休みになったとき、塾で勉強している人が“どんどん増えていき、自分が受験生であることを改めて感じました。しかし、また“やる気が”出ず”そのまま“していたら、右手(利き手)の手首が”折れて左手で私立と、公立前期を受けることになり、とても焦りました。でも私立は特進の下の方が“受かり、調子に乗って夕うけにいたら、前期月は落ちました。そして、塾でいろんな教科を勉強して、後期に向けての勉強を始めることができました。後期の勉強は、塾の先生や母などから、こうした方が”と指導を受けたりしてまじめに取り組むことができて、無事受かることができました。

